

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
都市部の公園・南部グループ	(指定管理者名)東京南部パークスグループ (団体の概要)公益財団法人東京都公園協会が日比谷公園ほか5公園を、大星ビル管理株式会社及び株式会社共立が日比谷公園大音楽堂を共同事業体として管理する。
指定期間	
H28.4.1 ~ R5.3.31(7年間)	

2 施設名	3 収支（単位：千円）		公園別支出額	
	項目	金額		
	収入計	717,398	日比谷公園:199,131	芝公園:118,199
	内 指定管理料	717,398	青山公園:45,864	林試の森公園:101,680
	内 利用料金	0	蘆花恒春園:94,160	祖師谷公園:93,177
	支出計	714,543	日比谷公園大音楽堂:62,332	
	収支差	2,855		

4 管理運営の概要

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合形式のイベントが叶わない中、マスメディアやSNS等様々な媒体を駆使して、公園のポテンシャルを広く知らしめる取組みを実施しました。日比谷公園ではツイッターをきっかけにテレビ番組「新・美の巨人たち」の誘致に成功、芝公園ではツイッター投稿を毎日実施し着実にフォロワー数を増加、青山公園ではツイッター経由で開園50周年記念のオリジナルブックカバーを配信するなど、ツイッターが情報発信の大きな柱となっています。また、YouTube動画の作成・配信にも積極的に取り組み、日比谷公園の「オンライン歴史探訪ガイド（6回シリーズ）」をはじめ、芝公園の「もみじ谷動画」や「芝丸山古墳動画」等、公園特性を活かした動画をアップしました。

○外出の自粛が求められるなか、公園の価値が「再発見」されました。日比谷公園の「Shibafu de cafe2020」は感染症対策を徹底し安全・快適なサードプレイスを提供、「日比谷アカリテラス」はWorld Urban Parks（WUP：世界都市公園会議）からの呼びかけを受け、「Parks for All（すべての人に公園の楽しさと恵みを）」のメッセージを込めて緑のライトアップを実施、青山公園では保育園児たちと楽しみながら手入れができるよう花壇をリニューアル、林試の森公園では新しい様式に即した新しいボランティア制度「フチボラ」をスタートさせるなど、環境変化に各公園が迅速に対応した取り組みが利用者から好評を得ました。

○利用者の声やニーズを迅速に取入れた施策を実施しました。手洗いの重要性が叫ばれるようになり、林試の森公園と青山公園では「非接触型手洗いボックス」を導入し子どもたちがすすんで手洗いをしたくなる環境を整備、蘆花恒春園では夜間パトロールにより花火のルールアップを強化、子どもや高齢者の利用が多い祖師谷公園ではそのターゲットに合わせた内容のクイズラリーを実施するなど、コロナ禍においても安全に楽しく公園を利活用していただきました。

○野外音楽堂で予定していた「日比谷音楽祭2020」は開催中止となりましたが、「公式YouTubeチャンネル」の開設や「公式アプリ：おうちで日比谷音楽祭」の配信、ニッポン放送の特別番組「日比谷音楽祭ON RADIO」の放送、更には日比谷音楽祭のスタッフを支援するクラウドファンディング等を通じて、コロナ禍であっても様々な手法を迅速に取り入れることで、日比谷音楽祭の魅力と来年の開催に向けて大きなPRを行いました。

5 管理状況（維持管理）

○公園の代表的景観をパークビューとして磨き光らせるため、グループ技術職員を結集した多様な共同作業を実施し、芝公園のもみじ谷や芝丸山古墳、蘆花恒春園正門周辺などの景観向上を図るとともに、OJTによる技術継承によりグループ全体の技術力の向上につなげました。

○全公園において野外卓・ベンチ、サイン、遊器具消耗部材交換など計画に基づき予防保全的補修を実施しました。計画的な施設補修により安全性のさらなる向上、施設の長寿命化を推進しました。

○地域遺産の継承として日比谷公園江戸系ツツジ、首賭けイチョウ、芝公園戦災イチョウ、蘆花恒春園コナラ・クヌギ雑木群の景観など歴史的樹木・景観の後継木育成・保全を継続するとともに、都内で被害が拡大しているナラ枯れの防除、拡大防止に努めました。

○日比谷公園霞門・雲形池周辺に新たなパークビューとなる全28種13,700株以上のユリによる景観「ユリロード」を創出し、利用者に花による憩い、やすらぎを提供しました。

○東京都教育庁や港区と連携し、有識者を招聘した芝丸山古墳ワーキンググループを開催。文献調査等に基づき古墳の本質的価値を検討し、維持管理・活用計画を策定。また約120年ぶりの遺構確認調査を実施し、芝丸山の先史から近代までの土地活用を知るうえで貴重な遺物を発掘しました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
日比谷公園	4.9	4.9	4.6	4.9	4.8
芝公園	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
青山公園	4.6	4.6	4.4	4.6	4.6
林試の森公園	4.8	4.5	4.5	4.7	4.7
蘆花恒春園	4.9	4.9	4.3	4.8	4.7
祖師谷公園	4.5	4.4	4.0	4.4	4.5
日比谷公園大音楽堂	4.6	-	4.6	4.6	4.9

7 入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
日比谷公園	2,675,485	外出自粛に伴う人流抑制、スポーツ施設の使用休止や占用許可イベントの中止により、前年度比50%減となりました。
芝公園	977,094	スポーツ施設の使用中止や大規模イベントの規模縮小などが影響し、前年度比80%と減少しました。
青山公園	425,452	コロナ禍の影響を受け、遠方からの来園者が減少したことにより、前年度比90%とやや減少しました。
林試の森公園	3,017,786	武蔵小山駅周辺の再開発もあり、前年度比270%と大幅に増えました。
蘆花恒春園	920,700	緊急事態宣言に伴う近隣公園需要の高まりを受け、前年度比130%と増加しました。
祖師谷公園	1,101,769	子供の運動広場やスポーツ施設の使用中止等による減少が、それら以外の来園増と相殺され、前年度並みに推移しました。
日比谷公園大音楽堂	14,764	新型コロナウイルスの影響による使用自粛・中止のため、利用率については前年度比69.3%減となりました。
合計	9,133,050	



## 今こそ公園の力を！～日本を代表する都市公園の存在感～

### ■新たなパークビュースポット「ユリロード」創出

【事業計画 No.3-③-9、23、No.3-②-61、評価区分 5・21】

新たなパークビューとして全 28 種 13,700 株以上のユリによる景観「ユリロード」を創出、利用者に花による憩い、やすらぎを提供しました。見頃を迎える 7 月にはツイッターの月間インプレッションが 70 万回を超え、2013 年にアカウントを開設して以来最高の反響があり、日比谷公園の魅力を都民に PR しその存在感をさらに高めました。



霞門・雲形池周辺に広がる圧巻の景観

### ■安心・快適に過ごせる空間を提供「Shibafu de café2020」開催

【事業計画 No.3-②-77、No.4-イ-7、評価区分 20】

コロナ禍でオープンスペースの価値が再認識されるなか、第二花壇芝生地を開放した「HIBIYA Shibafu de Café」を昨年度から 5 日間延長、10 日間に渡り開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底、平日は近隣ワーカーがランチや打合せに、休日はファミリーがピクニック等に、延べ 2,500 人以上がサードプレイスでゆったりした時間を楽しまれました。また、パークミーティングメンバーが事務局を務める「HIBIYA&HOPE PROJECT」に参画し、テイクアウト商品の持ち込みを促進するなど日比谷エリアの飲食店を支援するなど、地域と一体となり活性化に貢献しました。



ソーシャルディスタンスを確保できるサードプレイス

### ■Parks for All のメッセージを世界に発信「日比谷アカリテラス」

【事業計画 No.3-②-106、No.4-自-2、評価区分 23・32】

World Urban Parks (WUP：世界都市公園会議) からの呼びかけを受け、「Parks for All (すべての人に公園の楽しさと恵みを)」のメッセージを込めて日比谷見付跡の石垣及び日比谷公会堂を緑色にライトアップしました。WUP の WEB サイトにて「Parks for All」に参画した公園として紹介され、世界中に日比谷公園の存在をアピールできました。



緑色にライトアップされた日比谷見附

### ■影響力あるメディアを活用した PR

【事業計画 No.3-②-62、評価区分 21】

文化施設や芸術家のエピソード等を紹介するテレビ番組「新・美の巨人たち」を誘致、公園設計当時の背景等放送内容のチェックも行い、日比谷公園の歴史を美術、芸術、文化的視点で紹介する内容となるようリードしました。テレビ東京をはじめ 12 放送局で放送され、ランドデザインでもあげられている課題「公園利用者に歴史的、文化的価値を十分に伝えられていない」への解決の一助となりました。



著名人が園内をナビゲイト

## ■メディア関係者も注目する公式ツイッターによる効果的な情報発信

【事業計画 No.3-②-61、評価区分21】

テレビ番組の関係者が日比谷公園のツイッターを見たことをきっかけに番組誘致に成功するなど、SNS はマスメディアへの PR にも効果を発揮しています。今年度もツイッターを効果的に活用して継続的に情報を発信、ネモフィラやチューリップ、ツツジ等見事に咲き誇った花々の情報等を英語、中国語でも発信し、年間 400 回を超えるツイート発信と 230 万回を超えるインプレッションを記録、国内外にその存在を示しました。テレビ番組の誘致をはじめ、またフォロワー参加の写真投稿イベントや地域型 SNS 「PIAZZA」の活用等新たな手法、ツールにて情報発信しました。



美しい花々の情報とともに外出自粛を呼びかけ

## 日比谷公園の価値を再認識させる新たなアプローチの実践

### ■100 年以上の歴史を絶やさない！「オンラインコンサート」を開催

【事業計画 No.3-②-103、No.4-自-1、評価区分23】

水曜・金曜コンサートの再開を心待ちにする声に応え、警視庁音楽隊、消防庁音楽隊のオリジナル動画によるオンラインコンサートを実現、計 3,000 回以上視聴され、小音楽堂で音楽を楽しむ魅力をお届けしました。また、警視庁、消防庁の公式 YouTube アカウントでの配信を通じて新たな層にアプローチ、更にはコンサートの歴史や小音楽堂の変遷を楽しめる内容とし、公園の歴史的価値の PR にも繋げました。



日比谷公園の歴史も楽しめる内容

### ■「日比谷公園オンライン歴史探訪ガイド」の配信開始

【事業計画 No.3-②-49、No.4-イ-3・6、評価区分20】

園内の歴史資源を紹介する「日比谷公園歴史探訪オンラインガイド」のオリジナル動画を制作、6 回シリーズにて公園協会公式 YouTube アカウントにて配信を開始しました。動画は計 1,500 回以上視聴され、動画ガイドという新たな手法で日比谷公園の歴史的、文化的価値の訴求に成功し、英語テロップ版も制作することで訪日観光できない外国人に向けても公園の魅力、価値を発信しました。



職員登場でリアルガイドのような演出に

## 安心かつ安全な空間を確保する責任

### ■的確なデモ対応による混乱の未然防止

【事業計画 No.3-②-147、評価区分1・11】

予定人数を大きく超える等デモにて生じる混乱、迷惑行為に対し、警察と連携し、即時に是正するよう毅然と利用指導を行いました。特に今年度は外国人によるデモが多く行われたため、日本語を母語としない関係者に英語や中国語に堪能な職員が対応し、問合せ時の留意事項の説明や当日の指導を的確に行うことで大きな混乱を未然に防ぎました。

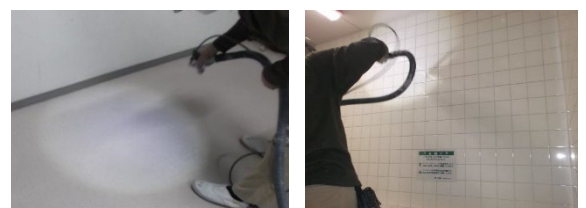


的確なコミュニケーションで混乱防止

### ■接触が多い施設の特別清掃、抗菌コーティングの実施

【事業計画 No.3-③-73、評価区分3】

利用者が直に触れる機会が多いテニスコート更衣室やシャワールーム、サービスセンター窓口、授乳室に、光触媒技術を活用した抗菌コーティングを実施し、安心感をもって利用いただきました。



コーティングは光を当て確認しながら塗り残しがないよう作業



## 歴史や自然の魅力の訴求と癒しの提供

### ■もみじ谷修復記念「長岡安平ともみじ谷」プロジェクト

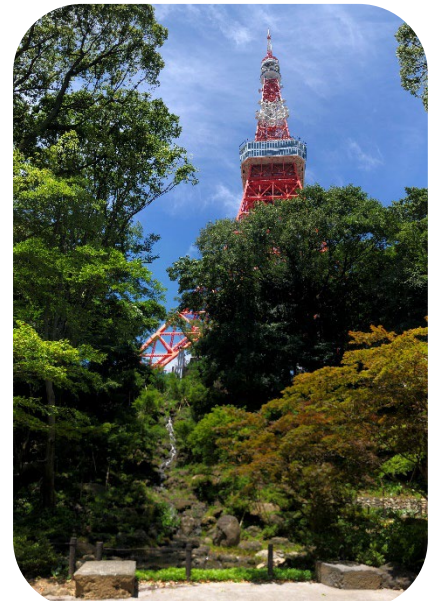
【事業計画 No3-②-12・60・61・62・79・107、No4-自-2、評価区分 23】

修復工事を行った「もみじ谷」の再オープンを記念するため、コロナ禍で計画の見直しを余儀なくされつつも、設計者長岡安平の功績や全国の関係公園とのつながりを活かし、様々な方法で魅力を発信しました。

長岡安平が設計に携わった全国 14 箇所の公園管理者の協力を得て、各公園の紹介パネルを屋外展示したほか、緑と水の市民カレッジ企画展「芝公園もみじ谷修復記念展」では職員がガイドを実施し、その様子がメディアにも取り上げられました。

大型イベント時にはブースを設けて PR 活動を展開したほか、次年度予定のライトアップに向け、試行的に、投光器を色づく紅葉にあてて、東京タワーをバックに闇に浮かび上がるもみじの彩りを演出しました。また、ツイッターでハッシュタグをつけて芝公園の写真を投稿いただいた方に「もみじの滝」のイラスト入りのオリジナルバッグをプレゼントする

ハッシュタグキャンペーンや、もみじマークのオリジナルゴミ袋をボランティアさんのクリーンアップ活動や職員の巡回清掃時にアピールツールとして活用するなど、様々な場面で PR 活動を展開しました。



東京タワーを借景としたもみじ谷



屋外パネル展



もみじ谷の夜間演出



オリジナルバッグ



もみじマークのオリジナルゴミ袋

### ■動画・ツイッターによる情報発信力強化

【事業計画 No3-②-13・37・46・61・62・79・87・88・89・107・108・112、No4-イ-2・3・4・5・6、自-2・3・5、評価区分 21】

外出を自粛されている方々に、公園の PR や癒しをお届けできるよう動画配信を行いました。芝公園の職員が作成した「園内自然」や「もみじ谷を巡るツアー」などの動画を、YouTube や港区のウェブサイトで公開することで、公園の魅力を幅広い層にお伝えしました。

また、ツイッターで季節の草花や園内の各施設等を毎日紹介するなど、常にフレッシュな情報発信を行うことで、フォロワー数が前年度比で 150% 増とオンラインによる発信力を強化することができました。



ツイッターのフォロワー数が順調に増加

## 安全・安心・快適な公園づくり

### ■感染症対策の徹底

【事業計画 No3-②-149、評価区分14】

サービスセンターでは、飛沫感染対策として透明シートを設置したり、人の滞留防止策として窓口周辺のレイアウト変更や対応スペースを制限するなど、密集状態をコントロールしました。また、センターの玄関や窓口に消毒用アルコールを常設したり、来所者へのマスク着用のアナウンスを丁寧に行うなど、利用者への啓発活動を含めた総合的な感染症対策をとりました。



SC 窓口

### ■愛宕警察署と連携した危機管理対策

【事業計画 No3-②-66・72・147、No.4-都-3、評価区分30】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、テロ対策を含めた安全安心の啓発活動を実施しました。頻発している特殊詐欺事件の対策や災害発生に備えた心構え、110 番通報の適正利用、巡回連絡への協力要請などについて、来園者や近隣への啓発活動を愛宕警察署員と職員が協力して園内パトロールを実施し、芝地域の安全・安心の向上に取り組みました。



警察署員と職員

### ■野球場稼働率の改善

【事業計画 No3-②-35、評価区分2】

野球場は、日当たりが悪く降雨降雪等の影響でぬかるみが発生するため、冬季（12～1月）の稼働率が安定せず、平成 30 年度は 28%と低迷していました。職員間でアイデアを出し合い、排水作業の迅速化やグラウンドの不陸解消、凍結防止といった作業を継続的に行い PDCA サイクルを回すことで、今年度は 45%にまで改善し、野球場利用者のサービス向上につなげました。



グラウンド整備風景

## 新たな歴史的魅力の発掘

### ■芝丸山古墳の適正な維持管理と魅力発信

【事業計画 No3-②-46・61・87、No3-③-33、No.4-イ-2、評価区分32】

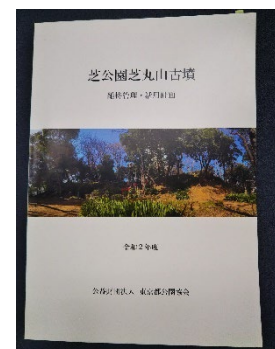
東京都教育庁や港区と連携し、約 1 年間の準備期間を経て、考古学・造園学の大学教授からなる有識者を招聘した芝丸山古墳ワーキンググループを 3 回にわたり開催しました。今後の維持管理・活用計画を策定するとともに、約 120 年ぶりに実施した貴重な調査現場を撮影、関係者からのコメントを加えた動画を YouTube で配信し、普及啓発を促進しました。



遺構確認調査



YouTube にてわかりやすく解説



「維持管理・活用計画書」を策定



## 公園は「楽しさ発見基地！」

### ■青山公園 50 周年記念事業

【事業計画 No.3-②-61・62・83、No.4-1-5、評価区分 20】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、人を集めたイベントのかわりに、毎月発行しているコミュニケーション・ツール **AOYAMA PARK 通信** (号外) を発行、公園の歴史や園内のおすすめスポット、ボランティアさんや保育園から寄せていただいたお祝いメッセージなどを掲載しました。

また、「これまでありがとう」「これからもよろしく」との思いを含め、職員が園内のビュースポットを描いたイラストを、ブックカバーとしてダウンロードできるようにし、1 週間毎日ツイッターで情報発信を行ったところ、総閲覧回数が 2 万回を超えるなど、多くの方々に公園の魅力をお届けしました。



AOYAMA PARK 通信

### ■お花いっぱい事業の促進

【事業計画 No.3-②-117、No.4-自-2、評価区分 23】

開園 50 周年を機に、「タイヤ花壇」として親しまれていた南地区の花壇を大幅にリニューアルしました。アヒルのトピアリーを取り入れるなど子どもたちに喜んでもらえるデザインを導入、いつも遊びにきてくれる保育園児たちとチューリップの球根を植え、「アヒル花壇」が完成しました。



## 地域とつながる取組

### ■近隣児童施設との連携による魅力的なイベント

【事業計画 No.3-②-61・89、No.4-イ-2、評価区分20】

松ぼっくりで簡単に作れる工作の動画を2本作り、ツイッターで発信したところ、閲覧回数が1万回を超えるなど多くの方々に楽しんでいただくことができました（昨年度実施した工作教室への参加人数は88人）。また、毎年教室の会場を提供いただいている港区施設には、材料と動画を提供し、感謝の声を多数いただきました。



工作教室の動画配信

### ■連携力と機動力を生かした出前自然観察教室の開催

【事業計画 No.3-②-37・88、No.4-イ-1、評価区分20】

近隣の小学校で、出張生き物観察会を開催しました。小学生三年生が学ぶ理科を補足する体験学習の場とし、生物に対する知識や好奇心を深めてもらいました。連携先の東急建設からは、園内で見られる昆虫を説明したり、ツルグレン装置を使った自由研究が提案され、来園促進にも寄与することができました。参加した88人の生徒を対象に実施したアンケートでは、8割が「とても楽しかった」、「よくわかった」などとポジティブに反応、また、先生からも感謝の声をいただき、コロナ禍であっても魅力的なプログラムを提供することができました。



センター長が講師となった出前教室

## 安心・安全への取組

### ■地域連携による安心・安全な街づくり

【事業計画 No.3-②-64・66、No.4-都-5、評価区分22】

コロナ禍により自治会、警察との活発な連携活動が困難な中、港区赤坂総合支所と連携し、限定的に3回127名と共に安全パトロール等を実施し安心安全な街づくりの推進に寄与しました。



地域と連携した安全パトロール

### ■路上生活者支援に向けた各関係機関との連携

【事業計画 No.3-②-70・71、評価区分1】

東京都及び麻布警察署と連携し、年間12回の巡回美化清掃を確実に実施し、路上生活者の自立支援と公園の美化向上に努めました。毎日のアメニティ巡回においても声掛けを行うことで滞留者増加を防ぎました。

### ■来園者からの苦情・要望等について

【事業計画 No.3-②-42・64、評価区分1】

要望の多いノーリード対策として、犬を連れた利用者の多い夕方に巡回を強化し、粘り強く呼びかけました。加えて、園内の注意喚起看板も、視認性をより高めるためにサイズを大型化しました。



徹底したノーリード対策



# 林試の森公園

## ニーズを捉えた安全・安心・快適性の提供

### ■来園者数「300万人」突破 急増した利用者の調整

【事業計画 No.3-②-42・66・149、評価区分 1】

春の緊急事態宣言をきっかけに来園者が急増し、遊具や広場、園路にて過密状況が発生したため、巡回強化や掲示物・園内放送・HP・横断幕等による注意喚起とともに、立入禁止エリアへの侵入防止柵や臨時駐輪スペースの増設を行いました。また、新たな要望への対応や、感染拡大を防止するためのマナー啓発活動への取組みとして、警察署や近隣小学校の先生、児童指導員、区役所など地域と一体となった巡回も展開しました。来園者数前年比 270% という利用状況の急激な変化にも関わらず、職員一丸となって苦情・要望に迅速かつ円滑に対応し、大きな事故・事件等のない安全安心な空間と、コロナ禍の不安を少しでも癒せるよう「心のオアシス」となる公園サービスを提供しました。

### ■「非接触型手洗いボックス」の導入で、子どもも管理者も笑顔に！

【事業計画 No.3-②-41、評価区分 14】

「積極的に手洗いたいけど屋外の手洗い場は衛生面に不安」や「洗面台が砂遊びでドロドロ。。。等」等の声に応えるため、給排水改修不要で耐候性があり、子どもの興味を引く「りんしのもり 手あらい BOX」を導入しました。感染症防止に有効な手洗いを習慣づけるきっかけとできたほか、トイレで泥・砂でまみれた手を洗う子どもが減ったため、トイレ床の泥汚れや排水溝の砂詰まりも解決しました。連日、手洗いを楽しむ親子連れで賑わい、遊具と思わせるほどの人気です。

### ■いつでも、一人でも 新しい参加スタイルの「プチボラ」始動！！

【事業計画 No.3-②-41・48、評価区分 22】

ボランティア活動に伴う団体加入や会合出席等の心理的ハードルや、固定的な活動スケジュールといった不便さを払拭するため、「ひとりでも」「できる日だけちょっと」という参加スタイルで社会貢献できるプチボラ制度を始動しました。11月から1月までの3か月で延べ90人が参加、参加者からは「子どもと遊びに来たついでに参加できる」、参加者以外からも「子どもが自発的に参加している」など感謝の声が寄せられるほどでした。今後も落葉清掃や花壇整備のメニューに加え、小石拾いなど新しいメニューを追加していきます。



連日、人の往来が止まない園路



横断幕と臨時駐輪スペースの設置



手洗いのようす



子供たちにも人気の「プチボラ」



## 地域協働等による公園魅力ズームアップ！

### ■園児たちといっしょに広場を魅力アップ！

【事業計画 No.3-②-84、評価区分 20】

コロナ禍でイベント中止となった出会いの広場は殺風景さが目立つようになりました。そこで、「こんなお花を植えたい！素敵なお花コーナー」と題し、園児たちから植えたいお花を教えもらい、一緒に球根の植付けや播種を行い、職員が作った「ポットドール」も設置しました。春にはカラフルなチューリップが広場を彩り、笑顔と華やかさが戻ってきました。



ポットドール



園児たちと球根の植え付け



花で彩られた広場

### ■ボランティアさんと「風に揺れる花を眺めるのが癒しのひととき花壇」の演出

【事業計画 No.3-②-84、No.3-③-9、評価区分 22】

花壇ボランティアは、高齢化等の問題により活発な活動が難しい状態でしたが、センター職員から課題を踏まえた花壇改善の提案を行い、協働による花壇づくりに取り組みました。管理の手間を省きながらも、見どころのある花壇を作れるこの提案はボランティアさんから喜ばれ、「生きがい・生涯学習の場」として公園への愛着をさらに深めていただきました。



これまでの平面的な花壇



提案資料



奥行きのある立体的な花壇に生まれ変わり

### ■万年塀改修工事「近隣住民への丁寧な対応」

【事業計画 No.3-③-90、評価区分 32】

公園南東境界に位置する万年塀は全長 212m あり、改修工事実施にあたっては既存住宅が建ち並ぶ敷地境界のため、近隣住民との丁寧な調整が求められました。平成 31 年 4 月の工事開始から令和 2 年 7 月の完了までの間、3 度に渡り、工事実施チラシのポスティングや手渡しによる告知や園内掲示板等への案内等を通じ、工事の目的や必要性について説明を重ねた結果、工期中一度も苦情や要望も無く無事に工事を完了することができました。



手前が園地で隣接して住宅地が続く



## 希少植物ガイドサービスの提供

### ■ウバユリの自然観察会

【事業計画 No.3-②-88・92、No.4-イ-2、評価区分 20】

都市に残された希少なウバユリをテーマとし、従来の観察会形式からパネル展示に切り替え、職員による個別ガイドおよびオリジナル冊子の配布を実施しました。従来の形式では参加人数に制限をかけざるを得ませんでした。個別ガイドにより 100 人（前年度比 500%）に当園の魅力をお伝えすることができました。

ガイドの際は、当園の歴史も紹介することで文化財の保存と継承の重要性への普及啓発にもつながりました。冊子には、ウバユリをはじめとした希少植物の紹介に加えて、公園利用時の注意事項を掲載し、利用マナーの向上も呼びかけました。



パネル展での個別ガイド



希少植物を紹介した冊子の配布

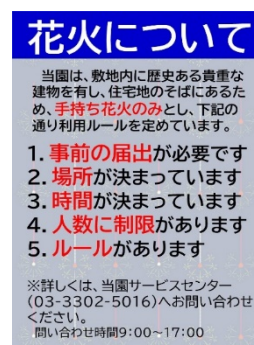
## 花火ニーズに応える施設の適正利用

### ■花火の利用規制と利用者のマナーアップへの取り組み

【事業計画 No.3-②-42、評価区分 1】

今年度は来園者が増えたこともあり、事前に東京都と花火ルールを調整し、事前届出制の周知を強化しました。花火の希望者に対し、近隣が住宅地であることや着火しやすい文化財建造物を有する公園であること等のルールを丁寧に説明し、マナーアップへのご理解を深めていただきました。

また、周知を強化したことで届出件数は昨年度の 4 倍以上に増えましたが、1 日あたりの利用件数制限や夜間巡回により園内秩序を保ち、近隣住民からは「燃えカスの散乱が抑制された」という感謝の声を、利用者からは「ルールを守れば花火が出来る」という周知がとても良い」と高い評価をいただきました。地域に溶け込み、利用者のニーズに応えながら、近隣住民の花火行為に対する不安を解消する取り組みとなりました。



この周辺で花火や爆竹等はしないでください。園内で花火を行う際はルールの厳守と事前の届出が必要です。詳しくは 蘆花恒春園サービスセンター (03-3302-5016) へお問い合わせください。

分かりやすいルールの周知



夜間巡回での確認・利用指導

## コロナ禍における適正で安心な窓口業務の提供

### ■新型コロナ感染症対策と各種申請手続きの適切な処理

【評価区分9】

庭園等の休園により、恒春園区域での婚礼前撮りのニーズが高まりました。ソーシャルディスタンスの確保やマスク着用が難しい撮影については、事前に企画書と合わせて感染防止対策の提出を促し、感染拡大防止への働きかけを徹底しました。その結果、他の利用者からの撮影に対するクレームにも適切に対応するとともに、撮影申請者を継続的に受け入れることができました。

(上) 婚礼前撮りの風景

(下) 占用者から提出いただく感染防止対策



蘆花恒春園サービスセンター 様

お電話になっております。  
当方がスタッフとお客様に対して行っている事です。

#### 【感染予防対策について】

- ・スタッフのマスク着用
- ・出勤時の検温など健康管理
- ・お客様の前日の体調報告
- ・スタッフとお客様の手洗い、アルコール消毒の徹底
- ・ヘアメイク、着付けの際のフェイスシールドの着用
- ・サロン内や社内の適度な喚起

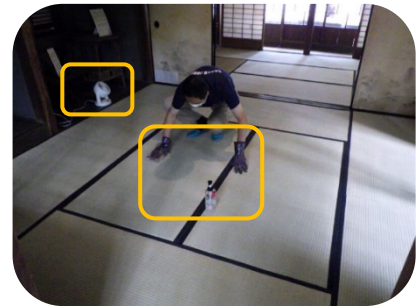
## 貴重な木造建築の健全性を維持する取組

### ■徳富蘆花ゆかりの建築物の健全性の維持

【事業計画 No.3-③-37、評価区分3】

徳富蘆花ゆかりの建物内は湿気がこもりやすいことから、定期的に職員がアルコール散布によるふき取りや換気を行いました。特に畳のある和室には新たにサーキュレーターを設置して稼働させることで、カビの抑制と臭いの軽減に繋がり、建物の健全性を維持しました。

日々の清掃活動をご覧になった来園者より、「カビの臭いを感じなくなった」など謝辞や激励の言葉を複数いただくことができました。



アルコールによるふき取りと  
サーキュレーターの設定

## 初のオンライン企画展の開催

### ■企画展「徳富蘆花と蘆花恒春園」の実施

【事業計画 No.3-②-95、様式 4-イ-3、評価区分20】

毎年、徳富蘆花ゆかりの「企画展」を蘆花記念館で開催していますが、今年度はボランティア団体との連携で動画を作成し、ツイッターで配信しました。記念館で保管している貴重な写真を用いて、初心者向けに徳富蘆花と蘆花恒春園の繋がりを分かりやすく説明した動画は、1月27日～31日までの5日間で700回を超えて再生されるなど幅広い層に文豪公園の魅力をPRできました。動画をきっかけとして当園に興味を持ち来園された方も多く、新しい客層を開拓することができました。



動画ツイート



## 自然とふれあえる都立公園

### ■コロナ感染防止を踏まえたイベント実施と豊かな自然を活用した公園の魅力情報発信

【事業計画 No.3-②-52・85、No.4-イ-8、評価区分 20】

祖師谷公園では、園内の樹木に親しんでもらうことを目的に 3 年前からボランティア団体と協働で樹名板を設置しており、現在 235 枚にまで達しています。

樹名板を活用する取組みとして昨年度実施した「樹木クイズラリー」は大変好評をいただきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、随時参加可能な個人参加型イベントとして、9 月から 3 月の 7 か月に渡って開催しました。

より多くの樹木に触れていただくため、ボランティア団体と一緒に作成したクイズは月替わりでテーマを変更し「スタンプラリー」も同時開催することにより、幅広い層でリピーターが続出、延べ 1,000 人以上にご参加いただきました。最終月に実施したアンケートでは、7 割が「とても満足」、残り 3 割が「満足」との結果が得られ、また、「公園をゆっくり見ることができてとても良かった、これからもぜひ継続してください」「楽しみながら自然について知ることができてよかった」など喜びの声も多数届き、自然学習の場としての公園利用促進、および魅力の発信に貢献する取組みとなりました。



窓口でスタンプを押印



スタンプラリーの景品

### ■幼少期から公園内で環境学習を！

【事業計画 No.3-②-52・88、No.4-都-4、評価区分 22】

園内の保育園からのニーズを発掘し、幼少期から公園や自然に興味を持つ心を育む取組として、子ども向け樹名板クイズラリー「じゅめいばんをさがせ！」を初開催しました。樹木の葉や花の形や幹の手触り、匂いなど五感を使う問題設定とし、楽しみながら樹木に親しんでもらえるよう工夫し、全問正解者には職員が作成した「どんぐりストラップ」や「どんぐりの独楽」をプレゼントしました。親子での参加も多く、2代に渡るファンづくりにつなげることができました。



真剣に答え合わせ中



全問正解するともらえる「どんぐりストラップ」



## 様々なシーンで関係者調整及び要望に応える取組

【事業計画 No.3-②-36・42、評価区分1・5・8・14・32】

住宅地に囲まれ住民の生活に溶け込んだ公園特性から、多様なご意見等が寄せられました。職員は一件ごとに丁寧に関係者に向き合っ調整、東京都への協議も行いながら改善に向けた取組を実施しました。

ご意見等	対 応
「樹木を大切にしてほしい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの幼木を保護する四ツ目垣を6か所設置</li> </ul>
「スケートボードの利用マナーを改善してほしい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察と連名のマナーアップ看板作成・設置</li> <li>・夜間利用実態の調査による把握</li> <li>・スケボー団体と連携した利用者のマナー向上</li> </ul>
「広場を快適に使いたい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体利用の調整（事前届出制の導入、声掛けの強化）</li> <li>・園内放送で利用ルールをアナウンス</li> <li>・自主整備を促進するため用具設置</li> </ul>
「公園外への飛球・砂塵を何とかしてほしい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛球の推定とフェンスの改善の検討</li> <li>・広場の利用実態を把握する防犯カメラ設置</li> <li>・天候を踏まえた散水</li> </ul>
「たばこの煙を何とかしてほしい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定喫煙所の場所変更における利用者調整</li> <li>・人の流れの多いところを避けて移設</li> </ul>



(左) 幼木保護の四ツ目垣



(右) 防犯カメラ



(左) 煙遮蔽板を設置した新喫煙所



(右) 広場の散水



## コロナ禍における「日比谷音楽祭 2020」の取り組みについて

【事業計画 No.3-②-102、評価区分 22】

日比谷公園及び周辺エリアで開催を予定していた「日比谷音楽祭 2020」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い発令された緊急事態宣言により、施設の使用中止及び自粛要請がなされ開催を断念しましたが、コロナ禍に対応した様々な手法を迅速に取り入れ実施しました。

### ■「日比谷音楽祭 ON RADIO」の生放送

開催予定日の 5 月 30 日、ニッポン放送の特別番組として「日比谷音楽祭 ON RADIO」を 3 時間半の生放送にて実施しました。音楽祭に出演予定のアーティストがオンラインにて出演、日比谷音楽祭の意義や素晴らしさなどを語っていただき、更なる認知度と魅力の向上につながりました。

### ■「公式 YouTube チャンネル」の開設

コロナ禍における新たな発信ツールとして「公式 YouTube チャンネル」を開設し、多彩なゲストを迎えて日比谷音楽祭の魅力や語りいただきました。若年層をはじめ多くの方に視聴いただき、次回の開催に向けて PR できました。

### ■「公式アプリ：おうちで日比谷音楽祭」の提供

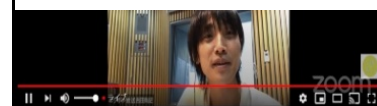
日比谷公園を舞台とした「公式おさんぽアプリ 2020」は、“STAY HOME”で楽しんでいただけるよう「おうちで日比谷音楽祭」と題したアプリに急遽変更、オンライン上でお散歩しながらクイズに答えることで日比谷音楽祭のオリジナル楽曲が聴けるなど、「日比谷音楽祭 2020」を楽しんでいただきました。

### ■クラウドファンディングの取り組み

開催中止に伴い仕事を失ったスタッフを支援するため、クラウドファンディングを活用して支援し、1000 万円を超える寄付が集まりました。この取り組みはメディアの注目を集め、6 月 16 日朝の NHK ニュース「おはようニッポン」にて紹介されました。



日比谷音楽祭 ON RADIO の様子



公式 YouTube チャンネルを開設



公式アプリ



クラウドファンディングサイト

## 大音楽堂の PR 活動・魅力の向上への取り組みについて

【評価区分 20】

大音楽堂の利用促進を PR するため、各種マスメディアを活用しました。宝島社「あの時代がよみがえる！昭和歌謡」、扶桑社「少年イン・ザ・フード 2」、「ちよだ生涯学習ガイドブック」「音楽ホール」やゲーテ WEB「常熱パーソン」などの雑誌をはじめ、テレビ東京「美の巨人たち」、NHK E テレ「SWITCH インタビュー 達人達」、NHK 歌番組「ライブ・エール」等の地上波でも取り上げられました。また、日比谷公園と連携し動画を撮影する等、積極的に PR に取り組みました。



昭和歌謡 CD BOOK

## 新型コロナウイルス対応について

【事業計画 No.3-②-42・78、No.3-③-104、評価区分2・11】

### ■コロナ禍に適応した利用ルールの策定と適切な利用指導の実施

東京都からの指示・指導に基づき、東京都感染拡大防止ガイドラインや国及び関係団体(公文協、ACPC等)の方針を参考に、大音楽堂としての感染対策とコロナ禍に適応した利用ルールを策定し、利用時は適切な利用指導を実施することで、安心・安全な利用と感染症の拡大防止に努めました。

優先抽選会の様子

### ■中止となった催事を対象とした優先抽選会の実施

やむを得ず中止となった催事については、利用者からの要望を踏まえ、東京都と協議検討の上、オリパラ枠の中から優先的に利用できるよう配慮したことで、中止を余儀なくされた利用者から感謝の声をいただきました。



### ■安全安心にご利用いただくための取り組み

建屋内トイレの水道蛇口を自動水洗化するとともに、主催者が利用する楽屋やトイレ並びに客席トイレの抗菌処理や、非接触型の温度計、ペダル式の消毒液スタンド及び楽屋内に空気清浄機を設置するなど、施設利用者の感染リスク軽減を図りました。



トイレ蛇口を自動水洗化

## 東京都との連携・協力により実施、対応した取り組みについて

【事業計画 No.3-③-4・89・90、評価区分1、2、31】

### ■コロナ禍における利用状況の連携と利用者対応

新型コロナウイルスの影響による催事の中止や自粛、利用者制限等の状況は、東京都に適時連携するとともに、使用料の還付手続き等、東京都と協力しながら利用者対応を実施しました。

### ■「都民の声」への対応

大音楽堂で開催予定のコンサート(特に10月4日のエレカシ)に多くの観客が集まり「密」となることから、「都民の声」に中止を希望する声が多数件ありましたが、東京都の指示のもと、利用指導等を適切に行うことで、周辺エリアでの滞留やクラスター等を発生させることなく、無事コンサートを終えることができました。

コンサート周辺の様子



### ■オリパラ、施設の利用拡大に向けての協力

オリパラ延期に伴い、当初予定していた気運醸成イベントが中止となるなか、主催団体への対応及び次年度の開催に向けた準備、スケジュール調整等を、東京都と連携して実施しました。また、音楽会の通年利用等、施設の利用拡大に向けた取り組みに関しても、東京都と連携の上、適切に対応しました。

### ■快適性と美観の向上

2年前に工事完了した座席表面の塗装が予想を超えるスピードで劣化したことから、東京都と協議検討の上、座板の再塗装補修工事を実施し、快適性と美観の向上を図りました。



再塗装工事が完了した座席